

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.183

Q.

「高配当株式」への投資の魅力は何ですか？

A.

- ① 配当の積上げにより安定的な収益が見込めること。
- ② 高配当企業は、財務内容が健全である等、優良企業である可能性が高いこと。

「高配当株式」とは・・・

$$\text{配当利回り}^* (\%) = \frac{\text{配当金}}{\text{株価}} \times 100$$

が高い株式のこと

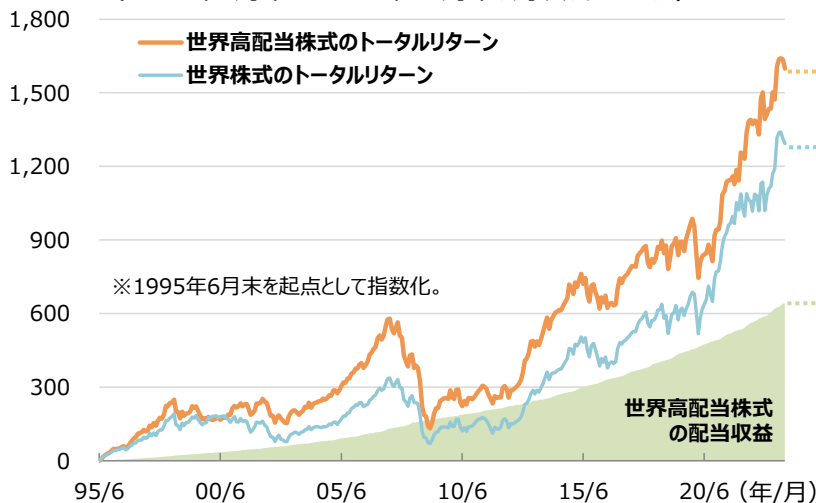
* 株価に対する年間配当金の割合（1株当たりの年間配当金÷株価）です。

魅力① 配当の積上げによる安定的な収益

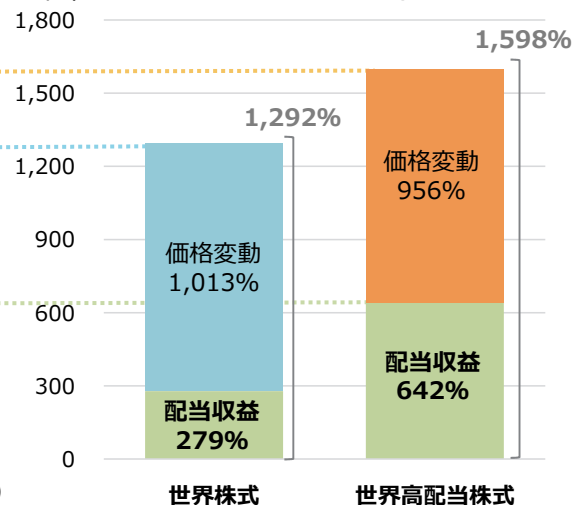
- 「高配当株式への投資」は、**配当収益の獲得**が見込まれることに加え、相場の下落局面や低金利の環境下ではその**配当収益が下支え**となり、**株価の下値抵抗**となることが期待されます。
- 「配当利回りが高い」銘柄群の指数である**世界高配当株式**のパフォーマンスは、**世界株式を上回る**結果となっています。「**配当利回り**」という要因が**パフォーマンス向上に寄与**していると推定されます。

配当の積上げによる下支え効果により、相対的に高い高配当株式のリターン

＜トータルリターン比較と世界高配当株式の配当収益＞
(%) (1995年6月末～2023年10月末、月次、円ベース)



＜価格変動と配当収益の寄与比較＞
(%) (2023年10月末現在)



(注1) 配当収益はトータルリターンから価格変動収益を差し引いて算出。

(注2) 世界株式はMSCI World Index（配当込み）、世界高配当株式はMSCI World High Dividend Yield Index（配当込み）。いずれも円ベース。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

魅力② 高配当企業は優良企業である可能性が高い

- 企業の「配当政策」には、その企業の経営状況や経営姿勢が色濃く表れると考えられます。
- **高配当の企業は、安定した収益基盤があり、財務内容が健全であるなどの特徴**があるとみられ、**経済環境などが変化しても、持続的な成長が期待**されます。「高配当株式」への投資は、そのような優良企業へ投資できる方法の一つであるといえます。



高配当株式への投資におけるポイント！！

- 高配当銘柄の中には、業績の悪化といった個別要因で株価が下落し、結果的に配当利回りが高くなっている場合や、投資した後に減配となる場合があります。
- **長期的・安定的な成長**によって**長年にわたり「配当の持続性」**や、「**配当の成長性**」が見込まれる**優良企業の株式**を選ぶことが大切です。

▶ 高配当株式の選定で重要なこと

配当の持続性

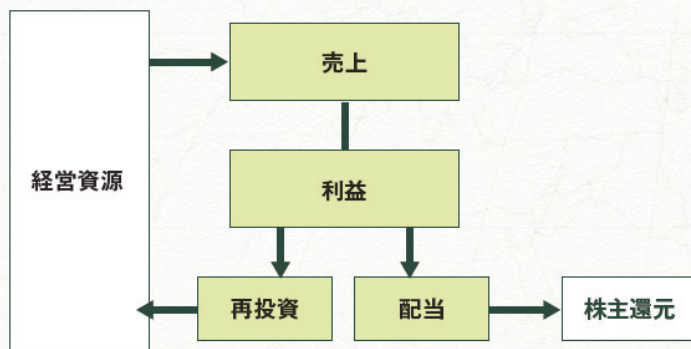
長期にわたり株主に配当を還元すること。

配当の成長性

企業の利益成長とともに、配当が成長（増配）すること。

配当成長のメカニズム

利益の一部を配当せず経営資源へ配分することによって、企業の投資が増え、売上・利益が増加し、配当の成長（増配）が期待されます。



※上記はイメージです。
 (出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

<ご留意いただきたい点>

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。